

非専門医療機関においてHIV陽性者の受け入れを妨げる要因に関する研究

塚田 訓久
埼玉医科大学総合医療センター 感染症科・感染制御科

研究要旨

病院総合診療領域の医療従事者を対象に HIV 陽性者の診療を妨げる要因に関する匿名アンケート調査を実施し、診療を妨げる要因として挙げられた「HIV 感染症に関する十分な知識がない」「相談できる専門家がない」等の改善を目指して、当該領域の医療従事者を対象とする情報提供を行った。状況を改善するための最適な支援のあり方について引き続き検討する必要がある。

A. 研究目的

抗 HIV 療法の進歩により HIV 感染症は長期生存可能な疾患となった。日本の HIV 陽性者は主に診療拠点病院で診療を受けており、HIV 感染症と無関係な合併症を発症した際の通院先決定に難渋する事例や、高齢化に伴い居住地から遠い診療拠点病院への通院が困難となる事例が存在する。抗 HIV 療法により安定している HIV 陽性者の合併症診療はプライマリ・ケア領域の医療従事者が最も力を発揮できる領域と考えられるが、十分に受け入れが進んでいるとはいえないのが現状である。本研究は、プライマリ・ケア領域の現場での HIV 陽性者受け入れを妨げる要因を明らかにし、より良い連携体制を構築することを目的に行った。

B. 研究方法

日本病院総合診療医学会所属の医師を対象に、HIV 陽性者の診療を妨げる要因に関する匿名のアンケート調査を行い、その解析結果をもとに非専門家を対象とした情報提要を行った。

調査項目として、「個人として対応可能な診療の範囲」「所属組織として対応可能な診療の範囲」「HIV 陽性者の診療を妨げる要因」に関する複数選択式の設問に加え、HIV 陽性者の診療に関わりやすくなるための改善点に関する自由記載形式の設問を設けた。

（倫理面への配慮）調査に際しては、患者情報、および氏名や所属組織など回答者の特定につながる情報を収集しなかった。

C. 研究結果

2023 年 12 月 5 日から 2024 年 1 月 31 日までの調査期間に得られた 207 件の回答について解析したところ、高血圧や糖尿病など継続的な診療を要する一般的な合併症、あるいは急性上気道炎や花粉症など一過性の合併症に関しては、回答者の 80%以上が個人としても所属組織としても対応可能と回答しており、HIV 陽性者の診療に関わる上での障壁として多く挙げられたのは「HIV 感染症に関する十分な知識がない（42%）」「抗 HIV 薬を処

方できない (30.4%)」「相談できる専門家がいない (25.1%)」であった。HIV 陽性者の診療に関わりやすくなるための改善点として多く挙げられたのは「HIV 感染症に関する情報の普及」「ガイドライン・マニュアルの整備」「診療費 (医療費負担軽減制度) に関する問題」「ソーシャルワーカーやカウンセラーの不足」等の意見であった。

D. 考察

調査結果から、HIV 感染症と直接関連しない一般的な合併症診療に関して総合診療医個人レベルでは十分な受け入れの素地があることが推測され、専門家との連携により HIV 陽性者に対する合併症診療提供の質と量を向上させることは現状でも十分に可能と推測された。診療阻害要因のうち「抗 HIV 薬処方」「診療費負担」「ソーシャルワーカーやカウンセラーの不足」の問題に関しては「HIV 陽性者の診療に関わる」=「HIV 感染症の管理 (抗 HIV 薬の処方) まですべて担当する必要がある」という誤解は、適切な情報提供により解消可能と考えられた。本年度は、これらの結果について日本病院総合診療医学会の学術集会で報告を行うとともに、同学会や日本プライマリ・ケア連合学会等における教育講演やセミナーを通じて非専門家を対象とした情報提供を行った。

自年度以降も同様の情報提供を継続するとともに、世代交代等により指導医層が不在となった施設における臨床問題解決の支援を通じて非専門家が現場で直面する問題点を抽出し、より良い支援のあり方に関する検討を進める予定である。

E. 結論

病院総合診療／プライマリ・ケア領域において HIV 陽性者の非エイズ合併症に関する受診ニーズを満たすための素地はすでにあり、専門家との適切な連携体制の構築および適切な情報提供により、現状を早期に改善できる可能性がある。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

論文発表

なし

学会発表

1. 塚田 訓久. HIV 感染症の診断・治療・予防. 第 98 回日本感染症学会総会・学術講演会. 2024 年 6 月 (神戸)
2. 塚田訓久. プライマリ・ケアにおける HIV 感染症・性感染症の疑問、なんでも答えます. 日本プライマリ・ケア連合学会秋季セミナー. 2024 年 9 月 (大阪)
3. 塚田 訓久, 松下 修三. 後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針 (平成 30 年 1 月 18 日) に定められた各種施策の実施状況に関する自治体調査結果 (H30~R04). 第 38 回日本エイズ学会学術集会総会. 2024 年 11 月 (東京)
4. 塚田 訓久. HIV 感染症. 日本感染症教育研究会 (IDATEN) ウィンターセミナー. 2024 年 12 月 (Web)
5. 塚田 訓久, 大塚 文男, 内藤 俊夫. 病院総合診療領域において HIV 陽性者の診療を阻む要因に関する調査.

- | | |
|---|--|
| <p>第 30 回日本病院総合診療医学会.
2025 年 2 月 (広島)</p> <p>6. 塚田 訓久. HIV 診療における病院総合診療医の役割. 第 30 回日本病院総合診療医学会. 2025 年 2 月 (広島)</p> | <p>1. 特許取得
なし</p> <p>2. 実用新案登録
なし</p> <p>3. その他
なし</p> |
|---|--|
- H. 知的財産権の出願・登録状況